

令和元年度 第2回 学校運営協議会報告

【日時・場所】 令和元年11月27日(水) 18時～20時 本館1階 小会議室

【出席者】

学校協議会委員：岩井 英雅 (元府立学校校長)、
大原 武史 (寝屋川市立第一中学校校長)
巽 順子 (地域住民)
松下 孝雄 (本校OB 北水会)
水野 洋子 (卒業生保護者、地域住民)
高崎 美和 (保護者 定時制PTA委員長)

准校長：浅川 又一

事務局：伊藤 牧子 (教頭) 住友 敏弘 (事務部長) 沼田 慎也 (首席)
山中 健 (教務主任) 庄司 樹生 (生徒指導主事)
田代 興太郎 (進路指導主事)

- 1 開会
- 2 准校長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 授業見学

1限目 授業見学 コミュニケーション英語Ⅱ 2-2 森田先生
生物基礎 1-2 藤田先生

【授業見学の感想】

- ・先生の説明が年々わかりやすくなっている。生徒が積極的に授業に参加しており、生徒と教員とのやり取りが活発だった。
- ・授業の合間にある雑談の方が、後の人生で覚えている。生徒が食いつくような話もあり良かった。
- ・スライドを使った視覚的な授業に、生徒がしっかり顔を上げ、内容に反応していた。机間巡視も良かった。
- ・生徒が積極的に発言するのは、意見を言いやすい雰囲気ができていて良いと思う。また、授業展開にもテンポがあった。
- ・遅刻者が少なく、教室にいる生徒の数が多。
- ・今日の目標が、黒板の端に明示されていて、分かりやすかった。

5 協議

(1) ①第1回 授業アンケート結果 (教頭)

全体的にポイントが下がったが、悲観していない。新しく非常勤の先生に来ていただいている授業が増えており、まだ本校に十分慣れていないということが考えられる。先生方が視覚教材の活用を工夫しており、今後もますますICTの活用を進めていきたい。また、授業時間に、巡回の教員が見回っているの、授業担当者が授業規律のことで口うるさく言わなくてもいい環境になっている。

提言・意見

- 授業を見させていただいてアンケートとのギャップに驚いている。
- 生徒が授業を受けて「できた」と感じたかという質問の肯定的回答を増やしてあげて欲しい。

②行事の参加人数と図書室の利用人数について（教頭）

各行事の生徒出席率、外部からの参加者数を紹介。各行事ともに生徒の参加率が高まってきており、行事に対して積極的に参加できるようになってきている。また今年度の明月祭では、3年生が体育の授業や放課後に練習を行いソーラン節を披露した。2日目は雨にも関わらず保護者、近隣の方々などの参加が多かった。図書室の利用人数は前年度同時期と比較して35%増加しており、授業において図書室の本から調べるレポートを課したり、生徒に向けて発行している「図書室へ行こう」が定着してきている。

提言・意見

- 明月祭のPTAの模擬店に手伝いに来てくださる保護者の方が、増えると役員としてありがたい。
- 球技大会では、ドッジボールが得意な生徒も、苦手な生徒も参加していて、お互い協力しているのが良かった。
- 生徒が持ち帰る図書日より「図書室へ行こう」を読んでいるが、保護者も「先生のおすすめ」というコーナーが好きなので、載せる回数を増やして欲しい。

③防災関係の取組みについて（教頭）

全日制と定時制で防災時における連携の仕方や役割の分担について会議を開いている。
また、防災時の非常食になる備蓄米（全日制と定時制の分）を定時制の食堂にて管理している。
定時制の地震避難訓練は11月15日（金）に実施した。生徒だけでなく教員側の本部立ち上げから、避難指示までのマニュアル確認の場としても良い訓練となった。

④各学年の様子（教頭）

- （1年）生徒が成績を見て、欠席や中抜けの多かった生徒も、しっかり授業を受けるようになってきた。また授業雰囲気は落ち着いている。一人でも多くの生徒を、進級できるように指導していきたい。
- （2年）様々な理由で授業に出席できず、厳しい状況にありながらも、進級・卒業をめざして取り組んでいる生徒が多くいる。2年生という気が緩みやすい学年だが、きちんと単位をとって進級させられるよう指導していきたい。
- （3年）3年制コースの生徒は卒業に向けて、4年制コースの生徒も来年の卒業に向けて、単位を修得できるように指導している。明月祭ではソーラン節を踊り、模擬店ではサイコロステーキを出店し、球技大会でも完全優勝を果たすことができ、まとまりと達成感を学年全体として得ることができた。修学旅行では、集合から解散まで時間をしっかり守り、タイトなスケジュールをこなすことができた。
- （4年）卒業が近づき、寂しさを感じる者、成績面で焦る者、進路で悩む者など、様々なことに思いを巡らせる生徒が増えている。そのような中、就職先が未決定の生徒の新たな就職活動への意欲がうすいので、学年全体で残された期間を指導していきたい。

（2）分掌等の取り組みの進捗状況について

1. 教務関係の説明（山中）

- ・前期の単位修得が、前年度に比べて増加している。
- ・教科の枠を超えた授業見学を行っている。
- ・図書室利用が活性化しており、生徒の来室者数が増え、授業での利用回数も増えている。
- ・研究授業を定期的実施し、良かった点と改善点を上げ、各教員の授業力を向上する機会を作っている。

2. 生徒指導関係の説明（庄司）

- ・行事に参加する生徒が、以前に比べて増えている。
- ・夏休み明けから中抜けやエスケープが増えてきているが、細かく指導を行っている。

3. 支援関係（沼田）

- ・SSWは外部機関と繋がる場面で活躍していただいております、SCは生徒のカウンセリングだけでなく保護者のカウンセリングも実施しました。また、お二人には教職員研修の講師もしていただきました。
- ・教育相談委員会は月に1度開いており、SSW、SCの方も参加しており、生徒の情報交換を密におこなっている。
- ・現在4名の学習支援員に来ていただいております、学習面で支援が必要な生徒のサポートをしている。
- ・コグトレ（認知機能強化のトレーニング）の活用に向けて、各方面への調査・研究を深めていて、来年度に取り入れる予定である。

提言・意見

○中学校校長として生徒がお世話になることが多く、きめこまかな指導をしていただき、ありがたく思っている。定時制に通いながら、昼間に何をするのかを、卒業後何をするのかを、支援できるような社会全体で考えなくてはならない。

4. 校内の活性化・職務の効率化について（沼田）

- ・第1回座談会を8月に、新着任の先生、若手の先生4名と首席でおこない、学校の課題や関わっている生徒の指導の様子、悩みなどを出し合った。
- ・首席として、若手の教員から相談や報告を受けるが、その際に報告なのか相談なのか、また自分はどうしたいと思っているか考えを明確に持たせるよう心がけている。

5. 進路関係の説明（田代）

- ・保護者向け進路説明会を6月に実施し、12組の保護者が参加した。また、奨学金説明会でも6組の保護者が参加した。
- ・来年から実施される予定だった大学入試での英語提供システムについて概要を生徒や保護者に説明してきたが、報道にもあったように延期になった。
- ・卒業予定者の進路状況の途中報告をし、進路保健部として進路未決定者を出さないように指導する。

提言・意見

- 「進路未決定者を出さない指導をめざす」という言葉に安心した。
- 自分の好きなことを仕事にするのが1番幸せだと思うが、なかなかそのようにはいかない。そのような状況においても、前向きに進路決定できるような指導をしてあげてほしい。